



TAMA協会の活動について

～ 連携実現への挑戦 ～



平成21年 5月 24日
社団法人首都圏産業活性化協会
小林 弘幸



全国18プロジェクト

イノベーションを促進する事業環境の整備
(ネットワーク構築と連携の推進)

イノベーションの連鎖による新事業・新産業の創出

世界中からの企業、人材、投資の求心力増大による
国際的集積の 加速化・高質化

キーワードは「イノベーション」。産学官の水平的なネットワークを構築し、次々と新事業が生まれる事業環境を整備
・・・このために、施策=産業振興ツールを集中的に投入。

地域発イノベーションによる産業活性(新事業が次々と生まれること)をすすめ、国際的に競争力のある(企業・人・資金等の求心力がある)新産業の創出をめざす。

地域産業活性化プロジェクト

TAMAクラスター推進組織
(社)首都圏産業活性化協会 - TAMA協会 -

TAMA協会は、
経済産業省が推進している地域産業活性化施策の
「産業クラスター計画」を活用して、
首都圏西部地域(TAMA)の産業振興を進める
ネットワーク組織。・・・メンバーは、産学官金。

Technology Advanced Metropolitan Area

TAMAネットワーク

TechnologyAdvancedMetropolitanArea ((技術先進首都圏地域))

TAMA協会は、世界都市東京の外縁に位置するTAMAクラスターの中核組織として、広域多摩地域(TAMA)の企業、大学、自治体等の独自活動を連携してシナジー効果を創出するため、産学官金のネットワークを構築してきました。

今後もTAMA協会が先導してネットワークを増強し、地球環境への貢献をも意識して、ものづくりビジネスの成功事例を次々と作り出すことで、TAMAを世界有数の新規産業創造拠点にすることを目指します。

TAMA協会は 地域の連携コーディネータ

広域かつ多様な関連機関が参加している
TAMAネットワークを活かし、TAMA協会が
連携をコーディネートします。

連携コーディネート実績 300件以上

大学との連携

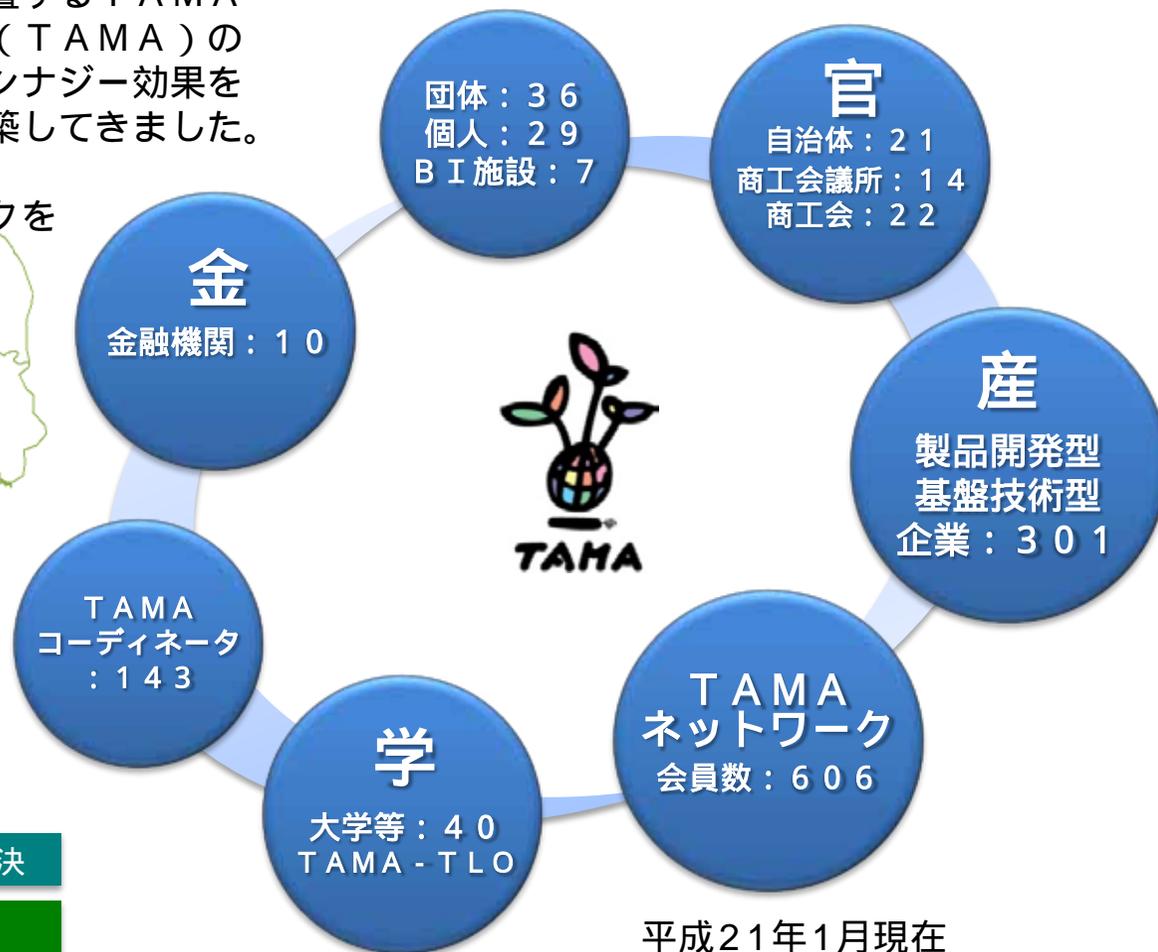
開発支援、評価試験、問題解決

大手企業との連携

試作、共同研究、受発注

企業間の連携

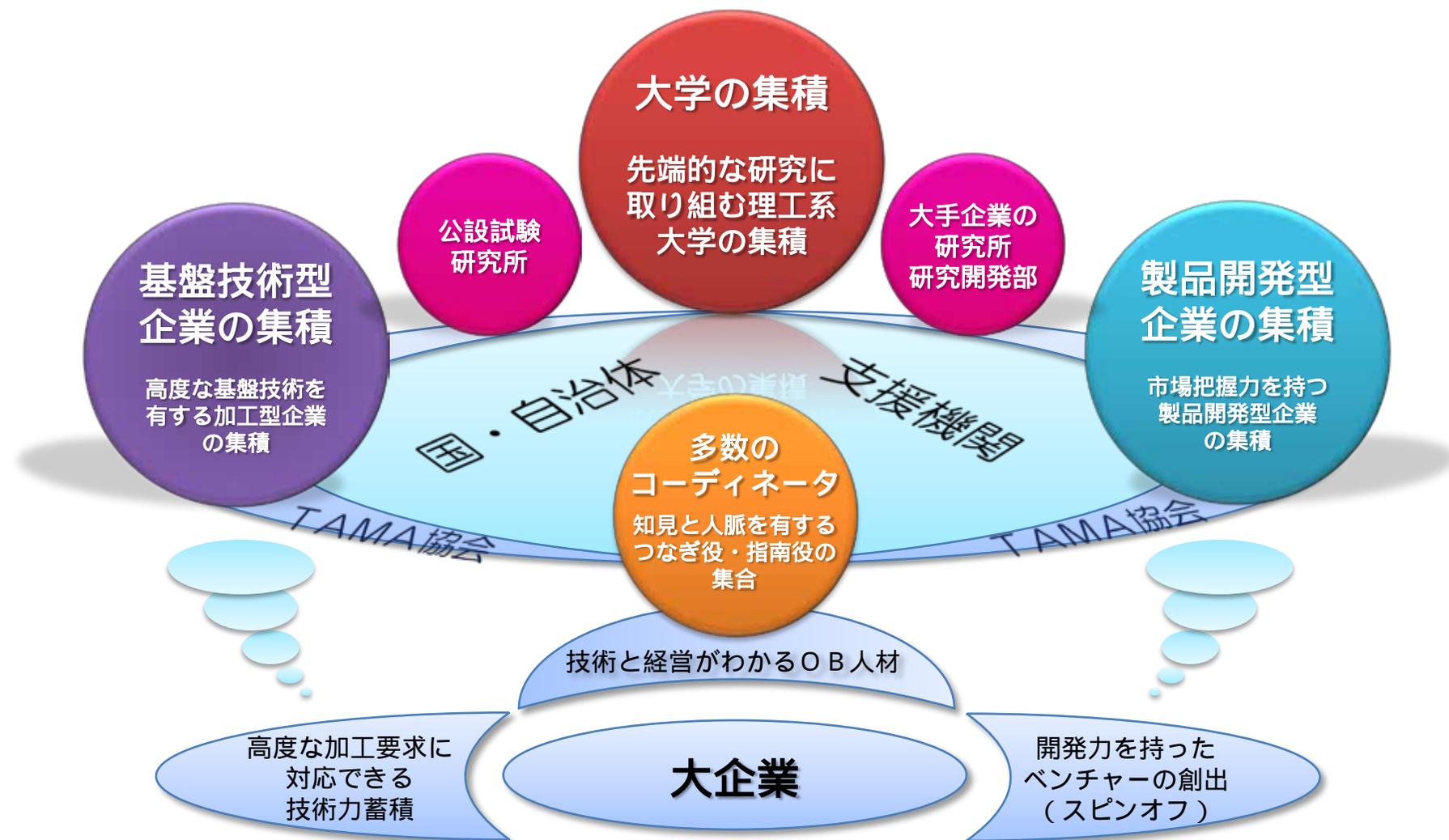
技術保管、共同開発、受発注



平成21年1月現在

TAMA協会の役割 ①

TAMAのポテンシャルを活かすネットワークづくり



TAMA協会の役割 ②

連携の推進によるイノベーションの創出

研究開発支援

産学連携促進事業
研究開発促進事業
製品・技術連携スクエア事業



事業化支援・経営支援

TAMAコーディネータ（専門家）派遣事業
ビジネスプランHSJプロジェクト
TAMAファンド

部品・部材の開発、あるいは、基礎的技術の開発は、画期的な製品開発に比べ、インパクト（印象）が小さいと思われる。・・・が、通例では、開発に関与する中小企業が多く、かつ、幅広い応用が考えられるため、広範囲の産業・企業の高度化に繋がる。

≡ 経済的波及効果が非常に大きい



販路開拓・海外展開支援

販路開拓支援事業
海外展開支援事業
（中国/韓国/イタリア/北米）



人材確保・育成支援

インターンシップ事業
人材マッチング事業
人材育成・能力開発サポート事業

TAMA協会の役割 ③

新たなイノベーションのきっかけづくり (新ネットワーク構築)

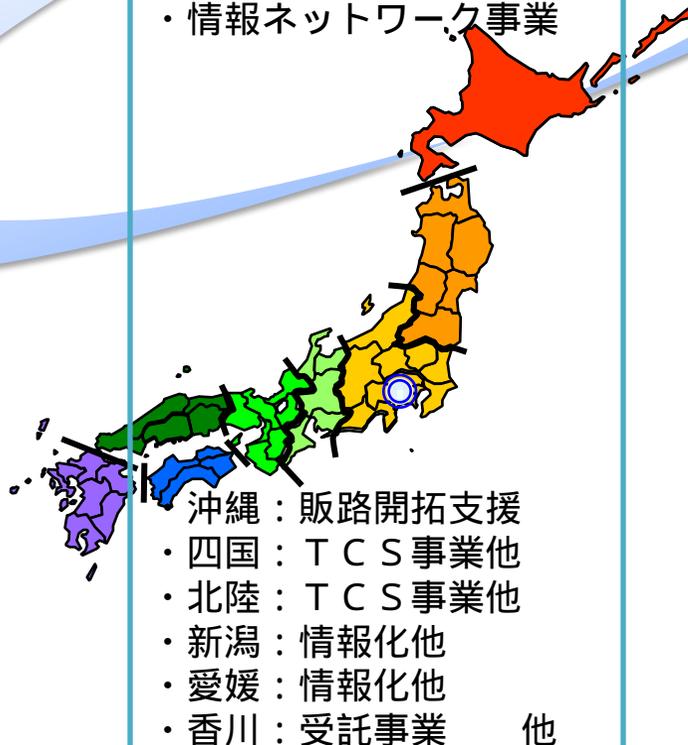
地域内連携

- ・ミニTAMA会
- ・拠点事業
- ・ビジネスフェア
- ・大学交流会
- ・BI施設との連携事業
- ・若・中ネットワーク事業
- ・TAMACo.制度
- ・バーチャルラボ運営
- ・域内組織からの受託事業



広域連携

- ・TCS事業
- ・コーディネータ派遣
- ・情報ネットワーク事業



地域間連携プラットフォーム構築
～顔が目に見えるネットワーク～

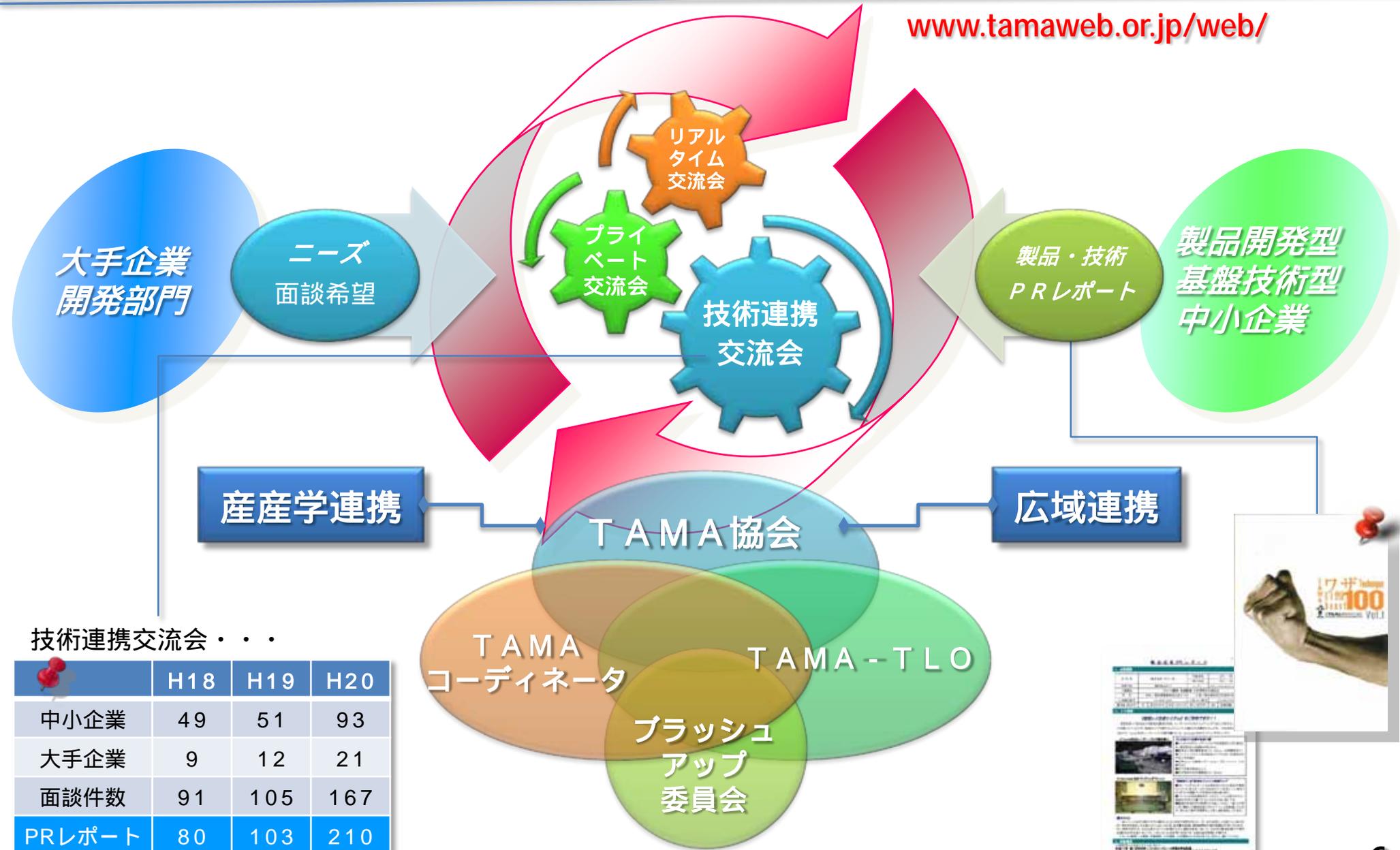
海外展開



- ・海外交流事業 (カウンターパート存在)
 - 中国：巨大市場販路開拓
 - 韓国：研究・製造拠点・人材
 - 米：販路開拓支援
 - 伊：デザイン・産産連携
 - 中国 (上海)
(現地) 上海中小企業産業
創新研究会の設立
 - 中国人脈の有効活用
 - 日本成功企業のトレース
 - 韓国 (大学・公的機関連携)
 - 漢陽大学人脈の有効活用
 - インターンシップ・商談会

製品・技術連携スクエア @ TAMA.web

www.tamaweb.or.jp/web/



技術連携交流会・・・

	H18	H19	H20
中小企業	49	51	93
大手企業	9	12	21
面談件数	91	105	167
PRレポート	80	103	210



環境と調和し、環境と共生する「ものづくりクラスター」をめざして



TAMA環境ものづくり憲章

埼玉県南西部、東京都多摩地域、神奈川県中央部に広がる技術先進首都圏地域（TAMA）は、武蔵野や相模野の面影が残る水と緑に恵まれた地域です。ものづくり産業がこの美しい自然と調和、共生していくためには、環境へ配慮したものづくりを進める必要があります。

今日の環境問題は、社会全体で取り組まなければ解決できない課題となっており、国際的に技術的優位性が高い日本のものづくり産業は、率先してものづくり循環システム（リサイクルと原材料化）を導入するなど、積極的に環境面へ配慮することが求められています。

このため、TAMA協会は「TAMA環境ものづくり憲章」を制定し、会員への情報提供や啓発を通じて環境に対する意識を高めるとともに、会員総意による環境ものづくり運動を展開していきます。

- 1 環境と調和し、環境と共生するものづくりを推進します
- 2 環境に配慮した企業経営を支援します
- 3 循環型ものづくりを促進します
- 4 会員への啓発活動を行い、環境に対する意識を高めます
- 5 環境保全活動に取り組む会員をサポートします